

就職活動を応援します！

市雇用促進協議会の取り組み

■市雇用促進協議会とは？

市雇用促進協議会は、市内の企業などで組織され、労働力の確保を図るために、高山職業安定所などの関係機関と協力しながら、次の雇用対策事業を実施しています。

①就職ガイダンス

就職ガイダンスは、求人募集をする飛騨地域の事業所と、飛騨地域で就職を希望する求職者のマッチングを図る合同企業説明会です。春1回、夏2回、3月に1回の年4回開催しています。対象は、新規学卒予定者やU・Jターン就職希望者、地元求職者です。飛騨地域の事業所は、毎回約80社が参加し



飛騨地域就職ガイダンス

ます。来場者は、関心のある業種や企業のブースに行き、人事担当者から企業の概要説明を聞いたり、直接質問したりして自分の希望に合った就職先を探すことができます。

②地元企業紹介冊子

新規学卒予定者やU・Jターン就職希望者の地元就職に役立ててもらうため、雇用に積極的な地元企業約110社を紹介した冊子「職場ガイドたかやま」を作成しています。各企業の概要や先輩からのメッセージなど就職先を考える上で参考となる情報が満載です。



地元企業紹介冊子「職場ガイドたかやま」

③その他

高校生に地元企業を知ってもらうための高校生地元企業説明会や、新しく就職した方を激励する新就職者歓迎のつどいなど地元就職に関わる事業を実施しています。

現場の声 Real Voice



市雇用促進協議会の打江信夫会長に、近年の就職状況や地元で働く魅力などについて語っていただきました。

協議会や各企業、私たち大人が一丸となって取り組みましょう

進学や就職で市外に出る人が多く、人材不足については、自社を含め厳しい状況であると感じています。先日、成人式が行われ、全国の成人は約120万人と公表されました。その一方で、出生数は約80万人と今年の成人の3分の2でした。過去を振り返ると団塊世代（1947〜49年生まれ）が成人になった頃は、ピーク時で約240万人で、確実に人口が減っていることが分かります。AI（人工知能）が進歩し、製造業においても自動化や少人数の動きがありますが、やはり、



市雇用促進協議会 打江 信夫 会長

機械を動かしたり、細部の調整などは人間が行わないといけないので、この人手不足の状況は心配しています。

市内には、古い町並をはじめとした都会にはない風情のある佇まいや、乗鞍の綺麗な景色など魅力が多くあります。協議会として、地元で就職いただけるように雇用促進事業を展開していきます。また、コロナ禍で開催できるオンライン就職ガイダンスの開催など、試行錯誤を重ねています。私も自社の業務の魅力磨きやPRに取り組みしていきますので、各企業も切磋琢磨しながら一緒に取り組んでいきましょう。

また、大人の皆さんにお願いです。地元の良さを知っていることが地元に戻るきっかけにつながるので、お子さんに、地元の魅力をぜひ伝えてあげてください。

自社工場の作業工程を確認する様子

